

内務卿伯爵 山 泉 有 朋 殿
沖繩県下無人島へ國標建設之儀ニ付沖繩県令ヨリ伺出ニ対スル指令ノ儀ニ関シ去ル十一月三十日附ヲ以テ右御指令案相添御照会ノ趣致承知候右ハ當省ニ於テモ御同見ニ候間別紙伺書ニ該案指令文記載且捺印ノ上附屬書類共及御還付候也

久場島、魚釣嶋へ所轄標杭建設ノ義
秘別第一三三号

久場島魚釣嶋へ所轄標杭建設ノ義別帶甲号之通り沖繩県知事ヨリ上申候処本件ニ関シテ別帶乙号ノ通り明治十八年中貴省ト御協議ノ末指令及ヒタル次第モ有之候後廿日其當時ト今日トハ事情モ相異候ニ付別紙閣議提出ノ見込ニ有之候条一応及御協議候也
追テ御回答ノ節別帶御返戻有之候度候也
明治廿七年十二月廿七日

内務大臣子爵 陸 奥 宗 光 殿
野 村 靖 閣
閣 議 提 出 案
別紙標杭建設ニ関スル件閣議提出ス
年 月 日

内閣總理大臣宛
(別紙)
沖繩県下八重山群島ノ北西ニ位スル久場島(原ノ)魚釣島ハ從來無

及上申置候ニ付去十月廿二日本県雇汽船出雲丸ノ先島航海掃路ニ於テ取調可致命ヲ含メ本県五等属石沢兵吾外両三名差遣シ候処別紙写之通復命書并ニ出雲丸報告書差出候依テ熟考スルニ最初清国ト接近スルノ疑ヲ抱キ何レニ属スルヤ否ニ到テハ甚タ不決断ノ語ヲ添へ上申候得共今回ノ復命及報告書ニ拠レハ勿論貴重ノ島嶼ニハ無之候得共地形ヨリ論スルトキハ即チ我八重山群島ノ北西ニシテ与那国島ヨリ遙ニ東北ニ位スレハ本県ノ所轄ト御決定相成可然哉ニ被考候果シテ然ハ大東島ノ例ニ倣ヘ本県所轄ノ標杭魚釣島久場島へ船便都合ヲ以テ建設致可然哉并ニ宮古島ノ南方ニ有之「イキマ」島及八重山島属波照間島ノ南ニ有之南波照間島ノ有無共雇汽船出雲丸ノ先島航ノ序ヲ以テ探究致可然哉前頭兩条何分ノ御指揮ヲ仰度此段上申候也
明治十八年十一月五日

内務卿伯爵 山 泉 有 朋 殿
書面伺ノ趣目下建設ヲ要セサル儀ト可心得事
明治十八年十二月五日

外務卿伯爵 井 上 馨 殿
内務卿伯爵 山 泉 有 朋 殿
甲 第 一 号
魚 釣 島 外 二 島 ノ 所 轄 決 定 ニ 関 シ 伺 ノ 件

管下八重山群島ノ内石垣島ニ接近セル無人島魚釣島外二島ノ義ニ付十八年十一月五日第三百八十四号伺ニ対シ同年十二月五日付ヲ以テ御指令ノ次第モ有之候処右ハ無人島ナルヨリ是迄別ニ所轄ヲモ不相

人島ナレトモ近来ニ至リ該島へ向ケ漁業等ヲ試ムル者有之カ取締ヲ要スルヲ以テ全県ノ所轄トシ標杭建設致度旨同県知事ヨリ上申有之右ハ同県ノ所轄ト認ムルニ依リ上申ノ通り標杭ヲ建設セシメントス
右閣議ヲ請フ
甲 第 百 一 十 一 号

久場島魚釣島へ本県所轄標杭建設之義ニ付上申

本県下八重山群ノ北西ニ位セル無人島久場島魚釣島之義本県所轄トシ大東島ノ例ニ倣ヒ本県所轄ノ標杭建設致度儀ニ付去ル十八年十一月五日第三百八十四号ヲ以テ上申仕候処同年十二月五日付ヲ以テ目下建設ヲ要セサル儀ト可相心得旨指令相成候処近來該島へ向ケ漁業等ヲ試ミル者有之取締上ニモ關係不尠義ニ付去ル十八年銀々上申仕候通本県ノ所轄トシ其目標建設仕度候条至急仰御指揮度儀キノ上申書及御指令写相添へ此段重テ上申候也
明治廿六年十一月二日

沖繩県知事 奈良原 繁 閣
内務大臣伯爵 井 上 馨 殿
外務大臣 陸 奥 宗 光 殿
第三百八十四号

魚釣島外二島実地取調ノ義ニ付上申

本年九月第三百十五号ヲ以テ本県ト清国福州間ニ散在セル無人島ナル久米赤島久場島魚釣島ノ景況聞取書ヲ添へ先以テ実地視察可為致

定其儘ニ致置候処昨今ニ至リ水産取締ノ必要ヨリ所轄ヲ被相定度旨八重山島役所ヨリ伺出候次第モ有之旁此際管下八重山島役所々轄ニ相定度此段相伺候也
明治廿三年一月十三日

知 事
内務大臣宛
明治廿八年一月十一日發遣
親展第二号
外務大臣子爵 陸 奥 宗 光 殿

内務大臣子爵 野 村 清 殿
久場嶋及魚釣嶋へ所轄標杭建設ノ件

久場嶋及魚釣嶋へ所轄標杭建設ノ義ニ付沖繩県知事ヨリノ上申書及明治十八年中全県へノ指令案相添へ客年十二月廿七日附秘別第一三三号ヲ以テ御照会ノ趣了承本件ニ関シ本省ニ於テハ別段異議無之候付御見込ノ通り御取計相成可然ト存候依テ右附屬書類相添へ此段回答申進候也
内務省秘別一三三号ノ内
明治廿八年一月廿二日

主査府県課長印
県 治 局 長 印
大 臣 印
次 官 印
外 務 大 臣 印

次官印
政務局長印

久場島魚釣島へ本県所轄標杭建設ノ件

沖繩県

右閣議決定済ニ付左案御指彈可相成歟
案
内務省指令 号

内務省指令 号

沖繩県
明治廿六年十一月二日付中野百十一号上申標杭建設ニ関スル件聞
届ノ
年 月 日

内閣批第一六号

内閣批第一六号

明治廿八年一月十二日秘別第一三三号

標杭建設ニ関スル件請議ノ通

明治二十八年一月廿一日

内閣總理大臣伯爵 伊藤 博文 印

本文指令淨書シ調印ノ上

内務省へ返付ス

廿八年二月二日

内務省秘別一三三号

明治廿七年十二月十五日

主査府県課長印

県治局長印

大臣印

次官印

参事官印

庶務局長印

久場島魚釣島へ所轄標杭建設之義上申

沖繩県

本件ニ関シテハ別紙ノ通明治十八年中伺出候得共清国ニ交渉スルヲ
以テ外務省ト御協議ノ末建設ヲ要セサル旨指令相成其旨太政官ニモ
内申相成候処其当時ト今日トハ大ニ事情ヲ異ニ致候ニ付標杭建設ノ
義御請届ノ積リヲ以テ左案相伺候

(本文魚釣島久場島ニ関スル地理ノ沿革等遂調査候得共何分其要
綱ヲ得ス海軍省水路部二百十号地圖ノ八重山島ノ東北方和平山及
釣魚島ノ二島ハ右ニ該当スルモノノ如シ而メ同部員ノ口陳ニ依レ
ハ右ニ島ハ別ニ從來何レノ領土トモ定マラサル趣ニ有之地形上沖
繩群島中ノ一部ト認ムヘキハ当然ノ義ト被著候間先以テ本文ノ通
取調候)

閣議提出案

別紙標杭建設ニ関スル件閣議提出ス

年 月 日

大臣 臣

總理大臣宛

(別紙)

参事官印

久場島、魚釣島へ所轄標杭建設ノ義ニ付上申

沖繩県

右案一応照会可然歟仰裁

追テ本件ハ別紙ノ通り明治十八年中伺出候得共清国ニ交渉スルヲ
以テ外務省ト御協議ノ末建設ヲ要セサル旨指令相成併セテ太政官
ニモ内申相成候件ニ有之候

照会案

客年十一月二日付ヲ以テ久場島、魚釣島へ所轄標杭建設ノ義上申相
成候処左ノ件承知致度

一 該島港灣ノ形状

一 物産及土地開拓見込ノ有無

一 旧記口碑等ニ就キ我國ニ属セシ証左其他

宮古嶋八重山島等トノ從來ノ關係

右及照会候也

年 月 日

県治局長

沖繩県知事

親展

右ノ外附別紙書類

一 明治廿六年十一月二日甲第一二号沖繩県知事ヨリ内務外務兩大臣

宛

一 内務大臣ヨリ外務大臣へ照会案

沖繩県下八重山群島ノ北西二位スル久場島魚釣島ハ從來無人島ナレ
トモ近來ニ至リ該島へ向ケ漁業等ヲ試ムル者有之之レカ取締ヲ要ス
ルヲ以テ全県ノ所轄トシ標杭建設致度旨同県知事ヨリ上申ノ通り標
杭ヲ建設セシメントス右閣議ヲ請フ
秘第一二号ノ内
復第百五十三号
久場島魚釣島港灣ノ形状及其他ノ件ニ付秘別第三四号御照会ノ趣了
承致候然ル処該島ハ去ル十八年中県属警部等派出踏査セシメ候以來
更ニ実地調査致ササルヲ以テ確報難及候得共当時出張員ノ調書及回
航船出雲丸船長報告書ハ別紙ノ通りニ有之候条其写シ并略図相添へ
此段及御回答候也

明治廿七年五月十二日

沖繩県知事 奈良原 繁 印

内務省県治局長 江 木 千 之 殿

追テ該島ニ関スル旧記書類及我邦ニ属セシ証左ノ明文又ハ口碑
ノ伝説等モ無之古來県下ノ漁夫時々八重山島カラ南嶋へ渡航漁
漁獵致シ候關係ノミ有之候条此段申添候也

甲六九号

内務省秘別第三四号

明治廿七年四月十四日

主査府県課長印

県治局長印

大臣印

次官印